

<b>白老町活性化推進会議 第2回 教育専門部会（報告書）</b>	
<b>開催日時</b>	平成26年 5月15日（木）15:30~17:00
<b>開催場所</b>	白老コミセン202号室
<b>出席者</b>	山崎栄二（観光協会）、岡田育子（アイヌ協会）、八幡巴絵（アイヌ民族博物館）、山田和子（ロータリークラブ）、勝洋一（校長会）、高木藤子（町内会連合）、竹下和男（文連協）、平野敦史（教委学芸員） * 敬称略
<b>会議概要</b>	<p><b>会議次第</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイヌ民族博物館で取り組んでいる町内の小中高等学校を対象とした、文化学習の現況を説明。（別添1「アイヌ民族博物館を利用したアイヌ文化学習について」を参照）</li> </ul> <p><b>状況・問題点（博物館）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内の指導要綱に基づいたコンテンツが学校ごとに決められている（“アイヌ文化学習”を行うにあたっては、見直すべき点も散見される）。</li> <li>・ 指導者側の時間的な制約を補った文化活動を行えていると思われる。</li> <li>・ 近年は体験学習や調べ学習など、生徒の主体性や探求心を涵養する形での利用が増えている。</li> <li>・ 歴史の話が博物館で取り扱いきれていない（非日常の伝統的世界の演出が前面に出すぎているため、現在のアイヌ民族の姿との距離感を埋められていない）。</li> <li>・ 展示のリニューアルが行えていないため、最新情報の反映が遅れている。</li> <li>・ 何故アイヌ文化を学ぶのかといった動機づけの徹底（少数者と多数者が問題意識を共有しないと、“異質性”の紹介でしかない。海外からの来場者の方が少数者とつきあう基礎的な知識や関心を有している）。</li> <li>・ 体験のメニューは用意できるが、施設のキャパシティや人員上の制約がある。</li> <li>・ 博物館につきまとう堅いイメージを払拭し、触れやすい取り組みを構築していく必要がある。</li> </ul> <p><b>質問・議論・意見（括弧内は話者）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学芸員と語りあう場を高い頻度で設けている施設がある。理解の促進に繋げられるのではないか（部会員）。</li> <li>・ アイヌ文化のイベントに、町外の参加者が目立つ（部会員）。</li> <li>・ 身近に感じてもらうための方法を考えたい（部会員）。 ⇒学芸員が足りていない（博物館）。 ⇒母体となる博物館内のみで扱うのか、外へ出て個別に対応するのか、どのような状況を作り上げるかも含めて議論しなければならない（事務局）</li> <li>・ 人員の拡充があると仮定した場合、計画している取り組みがあるか？（事</li> </ul>

	<p>務局)</p> <p>⇒専門性を持たせ、それぞれに学習のカリキュラム化を行いたい。現状は有料利用を優先せざるを得ない(博物館)。</p> <p>⇒チキサニをもっと活用してもらいたい。料金もかからない(チキサニ)。</p> <p>⇒チキサニの利用は推進したいし、町には民族芸能保存会もある。しかし料金的な格差は考慮しないといけない。博物館に全てにおいて減免の要請は難しい(事務局)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会や団体へのアプローチとして、DVDなどの映像資料を作るのどうか(部会員)。</li> </ul> <p>⇒観光客など短時間でアイヌ文化へ触れられる方へ、端的かつ合理的に説明できる工夫を考えたい。本州へ観光誘致に赴くと、人権問題として扱いたい意向をよく寄せられる。十分な時間が取れないのに、差別の歴史だけ扱ってはマイナス面しか語れない。対応に困る(部会員)。</p> <p>⇒断片的になるのは仕方ない。それを踏まえての効率的・効果的な情報の提供方法を吟味しなければならないのではないかと(部会員)。</p> <p>⇒耳触りのより情報だけでもいけないし、逆方向に偏ってもいけない。誰がテキスト作るようになって、注意しなければならない(事務局)。</p> <p>⇒多様性の理解が目的なのに、一般的道徳観に合致する情報ばかりが吸い上げられている節もある(博物館)。</p> <p>⇒導入の仕方が大切では。題材選びばかりでなく、伝え方についても議論の余地が沢山ある(部会員)。</p> <p>⇒私たちも“面白さ”や“楽しさ”を知らない。居住いを正しながら聞くのは疲れる(部会員)。</p> <p><b>今後の取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会員の学習の場を設けていくことが先決。細目に勉強会を繰り返すべきだろう。</li> </ul> <p>⇒次回はイオル事務所チキサニの事業を紹介。博物館を見学ののち、アイヌ民族博物館に在籍する若手の伝承者から聞き取りを行う。</p> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報部会より“イランカラプテ キャンペーン”の取り組みについて連携を模索したい旨の連絡があったことを報告。町内企業の朝礼などで5分~10分程度の時間をもらい、キャンペーンの説明などを行っていきたいとのこと。いずれ教育部会と席を交えた協議を設けたいとの意向を伝達。</li> </ul>
<p><b>次回開催予定</b></p>	<p><b>6月上旬で検討中</b></p>